

各種審議会等審議結果公表シート

会議の名称	平成26年度第1回中津川市博物館等協議会
開催日時	平成26年7月17日（木）15時～17時10分
開催場所	中津川市鉦物博物館 研修室
出席者の役職名	委員11名（うち遅参委員2名） 教育長・文化スポーツ部長・文化振興課長・鉦物博物館長（兼苗木遠山史料館長兼青邨記念館長）・中山道歴史資料館長・子ども科学館長・東山魁夷心の旅路館長・遠山史料館副館長・鉦物博物館館長補佐・学芸員・文化振興課学芸員3名
話し合われた内容 （会議録又は 審議概要）	<p>1 協議会委員委嘱</p> <p>2 教育長あいさつ</p> <p>3 協議会役員の選任</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会長 白木一男 ・副会長 山内健治 <p>・協議会の公開について</p> <p>【会長】 本協議会は公開を前提としています。今後は公開ということでしょうか。</p> <p>【委員】 異議なし</p> <p>【会長】 それでは公開ということですのでよろしくお願いいたします。 次に本協議会の委員の役割について事務局で説明してください。</p> <p>【事務局】 資料により説明</p> <p>【会長】 本協議会の役割は、館の運営に関して館長の諮問に対して応じること。もう一つは、館長に意見を述べることです。ただし、本会の決定がすぐ市の決定になるという決議機関ではありませんので、よろしくお願いいたします。</p> <p>4 協議事項</p> <p>(1) 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度各館の事業計画 各館長より概要説明（資料No.1） ・末松安晴先生顕彰室の設置について 文化振興課長説明 <p>【質疑】</p> <p>【委員】 4月に鉦物博物館でクリスタルコンサートを行ったが、子ども科学館映像ホールでもできるか。</p> <p>【部長】 吉鶴さんは各地で演奏活動をしており、鉦物博物館で演奏会を</p>

行って音楽に興味のある人が鉱物にも興味を持っていただくという、相乗効果を狙ったものです。

吉鶴さんも機会があったら各博物館でやりたいとの希望もあり、科学館でも可能です。ただし、入場者数を検討する必要があります。

【委員】 子ども科学館で新しいロボットが購入された。壊れた時の修理はどうしているか。

【子ども科学館長】 職員が修理している。子どもが手で触れれば壊れるが、手に触れて科学に興味を持つことがポイントと考えています。

(2) 博物館等の現状と今後の在り方

鉱物博物館長が説明 (資料No.2.3)

【質疑】

【委員】 課題は、金がないので施設整備、修繕等ができないことが問題である。遠山史料館に苗木城のポスターが貼ってあるが大変良かった。竹田城と同じくらいに思います。

どのような営業、観光PRしているか。岩村城はあれだけのものだが、観光バスが多く来ます。観光会社とのタイアップができています。もっと外へPRする方法があるはず。外へ向けてPRすれば、城ブーム、ロケーションも良いから人は来るはず。人が来れば入館料も増えて、修繕もできる。今の状況では無理だ。外へいかにPRするかにある。

【会長】 アクセスの問題、各施設が離れすぎている。巡回バスがあればよいと思う。最初からの問題点となっている。神坂、馬籠の間に記念館があればよいが、客が素通りする。テレビの影響は大きい。

【事務局】 苗木城については今年トイレを改築します。また、見通しの悪い立木は伐採する予算をつけていただいた。もっとあの城の写真をPRしていくことが必要です。現在城山友の会では写真を使ったPRを考えています。

【委員】 私は朝早く玉蔵橋を通るが、川霧がでて苗木城が非常に美しい。熊谷守一記念館ですが、東京にある守一美術館にチラシを置かしてもらったらどうか。

【事務局】 それはすでに行っています。

【委員】 商工会や、地域とタイアップしているところの入館者が増えていくことがわかる。地域の観光資源として活用すれば、もっと地域が活性化する。単独の施設として収益を考えるべきではない。もっと周りと一体化していくことで活性化に繋がると考えます。

熊谷守一などどんな画家か知らない人が多い。絵も周知されていない。看板ひとつで違ってくる。空間と郷土と一体となり、そこにあり素敵である。

合併して一つにすることも話として出たが、それぞれの特色が無くなってしまう。市全体の資源としてPRしていけばよいと考えます。

【委員】 私は中学校授業で熊谷守一のことは学んでいない。学校のカリキュラムの中に取り込んでいくことも必要であると考えます。

鉱物博物館は授業に使いたいけど遠くて足がない。授業でのサンプルの貸し出しをもっと広げてほしい。

科学館で天体観測会を開いてほしい。学校のカリキュラム、教育委員会の中で科学館や鉱物博物館を使うことを考えていくと良いと思います。

【委員】 館全てが修繕必要であるが、希望が見えて前は明るいように聞いた。反面、照明が暗い等予算化ができていない。

リニアの開通に向けての観光資源となる。マップはあるが博物館が巡回できるようなコースができればよい。

苗木城のCGを多くの人が見たがっている。営業に繋げていく手法を考えることが大切です。リニアで人を呼び込めるような素材は多くできた。いかに観光につなげるか、館と館、人と人を繋げることだと考える。

宿場町、博物館等をトータル的に考える人がいたらよい。老朽化した建物が、リニアが来るときにはピカピカになっていると良いと思います。

【会長】 トータルコーディネーターが必要である。

各館でアンケート等を取って会報に掲載する。子どもの感想文が載れば親は必ず見に来ます。

竹田城よりよいという話だが、どこが良いか。冬の時期、遠山史料館に佐賀県の車が来ており、ものすごくよかったと言った。何が良かったかを書いてもらおうと良い。それを市内の雑誌に載せる。市外から来る人は我々の見方と異なっている。

【委員】 昨年苗木城へ登って非常に良かった。その後ほかの山城へ登ったが景色は苗木城が一番だった。

中山道資料館で中山道のことを説明してもらったが、非常にわかり易かった。

文化の日はいつも無料となるが、いつも無料ならよい。

青邨記念館も早く開館できると良い。市内には良い博物館があるので、まず市内に人全員に見てもらえると良い。JAFにのせることも市内外の人に見てもらえるのでプラスになる。恵那峡サービスエリア等でPRすること等、パンフレットをうまく配布することも必要と考えます。

【委員】 施設の良さをアピールして、リピーターを増やすことが大切だと考えます。何かをおこなっているから寄ってみて、良かったら次はだれかを連れて来る。

たとえば子ども科学館で子どもの作品展をやる。また地域の会議の場として使う。まず人の足を向かせることが掘り起こしにつながるのではないかと。

【会長】 苗木城の写生大会を中学で行い、絵を展示する。そうすれば親は必ず見に来る。赤壁という菓子がある。菓子組合に頼んでPRしても

らう。トータルコーディネーターが常にそういうことを考える必要がある。

【委員】 前田青邨展を見たが、むなしかった。優秀な先生の作品が少なかった。市はもっと力を入れるべきだと考えます。

記念館の閉館ははずかしい。しかし今開館しても意味のない開館となる。是非新しいものを求めて、市民として誇りのあるものを持つ。表面だけでなくメインとなるものを作り上げる。そうすれば皆さんが博物館に顔を向けてくれることになる。そういったところを肝に銘じてやってほしい。

【部長】 報告ですが、付知地内で民間の方が熊谷守一記念館の開館を予定しています。民間の方が自分の資金で開館するものです。平成26年に着手し、27年度に開館を予定しています。守一芸術を広げ地域の活性化につなげたいというものです。

現在守一記念館はアートピア付知の中にありますので、今後記念館をどのようにしていくかは、またご意見を賜りたいと考えています。

【委員】 現在の作品は個人の施設に貸与されるのか。

【部長】 付知地内に別の記念館を作るものです。個人は作品を70点ほど所有してみえますので、その作品を新しい記念館に展示するものです。現在記念館で展示している作品も、新しい記念館で一本化して公開展示していきたいと考えます。

【事務局】 現在の記念館の展示物の多くが個人の所有物となっています。市の所有は少ない。市が貸した作品を展示するというより、主に個人の所有物を展示するという形になるのではないかと考えます。

【事務局】 委員の皆様にはいろいろな意見をいただきました。もっとPRしていくこと、リニア開通に向けて観光資源としていくこと等ご意見いただきましたが、今までいただいたご意見も含め、本協議会のご意見としてまとめていくかどうかについて、ご意見をいただきたいと考えます。

今までいただいたご意見を一つずつ対応、活動に活かしてきましたが、会としてまとめて教育長なりに意見書、文書として提出するかどうかということです。

【会長】 今までの協議会で出た意見をまとめて、行政で反映してもらおうという意味で、事務局でまとめて行政へあげていくということですか。

【事務局】 はい、事務局でまとめた後、再度集まっていただいて、皆さまに吟味していただき、会の意見として出していくということですか。

【教育長】 この会の流れということになると、諮問に対して答申ということなら、こういう風に図りますということになる。

この会は教育委員会の附属機関になっているが、館長の諮問に対して応じるということなら、博物館等の活性化についてなどの諮問、テーマを

出してもらい答申するということになれば協議会でまとめることになる。そうでなく意見をお聞きしてまとめるということなら、事務局でまとめるという流れになる。これは事務局サイドで考えてもらうことではないか。

【事務局】 確かに正式な諮問という形ではありませんが、今まで色々な意見が出ていますが、形として残っておりませんので、どうしたらよいかということで提案させていただきました。

【会長】 以前ではあるが、初めに委員を委嘱してもらい意見を言って、2回目はその報告、成果を聞いて終わりとなってしまう。それだけでは物足りないということで、事務局でまとめられて、どれだけ具現化できたかを聞きながら、委嘱を受けた日と最後の日の真ん中、年末あたりでもう一回会を開く。皆さまの許可を得て3回開いたことがあった。せっかく意見が出たので途中で問題点、成果についてもう1回やるかどうか。そこで諮問を受けた形にしてもう1回やるかどうかということ。それは結構です、2回やるだけで良いということならそれでよい。もう1回増やすということならボランティアになる。これはこの協議会で決めることです。

皆様のご意見をいただきたい。

【委員】 この会の意見をまとめて出していっても、金のかかることや、いろんな面があって、やってもらっていないじゃないかと言う協議の場ではない。日頃感じたことを言う場で良いのでは。

事務局で出来ること出来ないことを振り分け、どれから取り組むか、できることから取組めばよい。

年末にやっても、取り入れることができることとできないことがあるので、同じことになるのではないか。

今まで、改善できること、金はかからないがPRは出来る、方法を変えること、市内の人に見てもらおうこと等の意見が出たが、会の意見として提言することになると、会として意見をあわせなければならなくなる。この会はそういう会ではないのではないかと思います。

【委員】 いろいろな意見が出たが、参考にさせていただければよい。私たちもそういう手段、考えもあるということが判ってもらえればよい。

【委員】 以前、ポイント制、ボランティアの活用のことを提案して、取り入れていただいた。ボランティアをすれば他の館も利用できるようになった。検定の提案もあって、検定に合格した人にボランティアはどうですかと声かけて少しは増えてきた。

意見を聞いて、取り入れられるものは実際の行動に移していただいた。全部が全部はできない。私たちも無責任ではあるが言いたいことを言っている。そういう会で良いのではないかと考えます。

【会長】 それでは、今委員の言われたことよろしいですか。言っただ

	<p>けになるようですが、それぞれの委員の話してくれたことに、事務局で取り組んでいただきたい。</p> <p>話は変わりますが、図書館はこの会のメンバーではないが、図書館長をオブザーバーという形で呼びたい。図書館長は一生懸命やっている。本会で出た話を聞けばと対応してくれる。可能なら、考えが広がるし、本協議会に出ていただいたらどうか考えてみてください。</p> <p>【教育長】 お礼と感想を述べさせていただきます。</p> <p>先ほど外へ攻めるという話が出ましたが、私も観光課でポスター、パンフレットをもらって外へPRしています。営業マンのつもりでやっています。</p> <p>以前いたALTが外国人向けのホームページの開発、観光ガイドをやっており、もっと市のことをのせてくれと言った。外へもっと出すことが大切に考える。</p> <p>営業に関することから言えば、民間とのつながりをもっと深くしたい。民間的な発想を持って進めていくことが大切と考えています。</p> <p>行政の仕組みから言うと本協議会は、教育委員会の附属機関ですが、行政システムでは文化スポーツ部となっている。教育委員会と文化スポーツ部両面から動いていきたいと考えているのでよろしくお願いします。</p> <p>また、子どもたちの活動という面では、現在スクールバスが空いているときはうまく運用して、子どもの活動に役立てるようにしていきたいとも考えています。</p> <p>今回も科学館や歴史資料館の館長さんが方針を示していただいた。これからもできることから知恵を出して、工夫しながらやっていきたいと考えますのでよろしくお願いします。</p> <p>【事務局】 先ほど話があった、学校で足がないという場合は相談してください。日程の調整さえできれば標本をもって学校へ出向きます。気軽に相談してください。</p> <p>【会長】 以上で協議会を終了します。お疲れ様でした。</p>
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度各館事業計画 資料No.1 ・中津川市博物館等施設使用状況等 資料No.2 ・博物館等の現状と今後の在り方 資料No.3 ・末松先生顕彰室レイアウト ・博物館等協議会委員の役割について
管部課	中津川市鉱物博物館